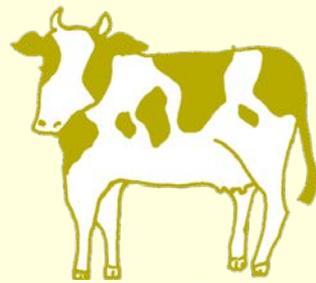


シンポジウム



農業協同組合による 保健福祉事業の歴史



-地域住民の生命と生活はいかに守られてきたか-

農業経営や食糧生産の面から取り上げられることの多い農業協同組合（JA）ですが、生活福祉面から地域社会の課題に対応してきた歴史があります。本シンポジウムでは、JAの保健福祉事業について、歴史的展開を踏まえた上で、その今日的課題、さらには地域社会における保健、福祉の構築のあり方について理解を深めたいと思います。シンポジストには、協同組合論や地域福祉の観点からJAについて検討してこられた研究者、長年地域で活動してこられたJA生活指導員の3名をお招きしています。

様々な領域からご関心をお持ちの学生、研究者、実践家のご参加をお待ちしています。

日時

2017年 1月 28日 土

14:00 ~ 17:00

場所

お茶の水女子大学
本館 135 室

東京都文京区大塚 2-1-1

アクセス 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩 7 分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩 8 分



企画・司会

川上 裕子

【お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所
特別研究員】

シンポジスト

■石田 正昭 [龍谷大学農学部教授・日本協同組合学会会長]

「農協厚生事業の歴史と今日的課題」

■福田 いずみ [(一社)JA 共済総合研究所調査研究部研究員]

「農協による子育て支援の変遷と
今日的ニーズ」

■角野 淑枝 [前 JA 福井市福祉センター統括次長]

「福井市におけるJA女性組織の育成」

参加無料

参加申込



当日は会場でも受付を行っていますが、会場準備の都合上、可能な限り1月25日（水）までに下記お申し込み先まで、お名前とご所属をお知らせください。どうぞお気軽にお越しください。

お申し込み・お問い合わせ先：川上裕子（お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特別研究員）

Email : kawakami.yuko@ocha.ac.jp